

CPコンクリート現場打設

安藤ハザマら 日野市と連携 ベンチや舗装に

安藤ハザマが幹事社を務めるCPコンクリートコンソーシアム(CPCC)は、二酸化炭素(CO₂)を吸収・固定するCPコンクリートの現場打設を国内で初めて行った。これまでは工場

で製造し現場に搬入して設置していたが、今回の試験施工ではCPコンクリート製のベンチを現場で打設。その後、CO₂をCPコンクリートに固定する作業を行った。今後はCO₂固定量の測定や検証を進める。

CPCCと東京都日野市は、地域社会の持続可能性を高めるための気候変動対策に関する連携協定を結ん



西平山あそびばに施工したCPコンクリート製ベンチ
(報道発表資料から)

だ。実際に地域でCPコンクリートを使用するため、4月オープン予定の「西平山あそびば」で、CPコンクリートを用いてベンチの製作や、スロープ・駐車場の舗装を行った。

市内にある豊田駅前では、バス専用スペースにCPコンクリートを使って製造したプレキャスト(PCa)RC版を施工した。

CPCCはベンチやスロープ、舗装に固定したCO₂量を測定・検証。政府が国連に提出する日本国温室効果ガスインベントリ報告への反映に向けデータを提供していく。

今回の試験施工を担当した企業と役割は▽安藤ハザマ▽西平山あそびばでCPコンクリート製ベンチの打設。養生時にCO₂の固定作業▽佐藤渡辺▽西平山あそびばのスロープ・駐車場に透水性を有し、降雨時の路面滞水を防ぐ機能を持ったCP透水性ポラスコンクリートを施工▽大成ロテック▽豊田駅前バス専用スペースに強度・耐久性・急速施工に特化したPCaRC版を施工▽内山アドバンス▽全ての施工でCP生コンクリートの製造▽内山ア

ドバンス、大阪兵庫生コンクリート工業組合▽コンクリートの材料となるCO₂固定材料の製造▽青木あすなる建設、浅沼組▽ベンチの養生時にCO₂を固定できる生コンの配合や養生工法の検討。

